

# 野菜畑作生産情報 第5号（要約版）

平成28年8月18日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

◎病害虫防除と排水対策を徹底しましょう！  
◎適正な温度管理と肥培管理を徹底しましょう！

## ○大豆

- 1 生育は、平年を上回っている。
- 2 食葉性害虫の早期発見・早期防除に努めるとともに、マメシンクイガや紫斑病の適期防除を徹底する。
- 3 台風や大雨に備え、滞水しないように明きょ等の排水対策を徹底する。

## ○小麦（は種の準備）

- 1 適期（9月15日～25日）には種できるようなほ場を準備する。
- 2 ほ場の団地化を図り、明きょや弾丸暗きょなどで十分な排水対策を行う。
- 3 紅色雪腐病の被害を予防するため、種子消毒を行う。

## ○ながいも

- 1 地上部の生育は平年を上回っており、地下部は種いもの頂芽の有無により生育差が見られるものの、概ね順調である。
- 2 葉渋病、炭疽病など病害の防除を徹底するとともに、ナガイモコガ、アブラムシ類などの害虫の早期発見・早期防除に努める。
- 3 台風や大雨に備え、ネットや支柱の補強、降雨後の停滞水の排水対策を徹底する。また、植溝が陥没したときは速やかに埋め戻す。

## ○にんにく

- 1 病害虫が発生していないほ場を選んで作付けする。
- 2 堆きゅう肥及び土壌改良資材の施用量は土壌診断結果に基づいて決め、必要以上に投入しない。
- 3 病害虫に汚染されていない種子を確保し、種子消毒を徹底する。
- 4 種球の分割・調製はできるだけ植付け直前に行う。

## ○夏だいこん

- 1 地上部、地下部とも平年を上回り、順調である。
- 2 軟腐病、キスジノミハムシの防除を徹底する。

## ○秋にんじん

- 1 地上部は概ね平年並であるが、地下部は平年を下回っている。
- 2 黒葉枯病やヨトウムシなどの早期発見・早期防除に努める。

## ○ご ぼ う

- 1 生育は概ね順調であるが、生育観測ほでは平年を下回っている。
- 2 黒斑細菌病などの防除を徹底する。

## ○夏秋トマト

- 1 5月上旬定植では、6段果房の収穫終盤となっている。7月の日照不足により収穫はやや遅れている。
- 2 肩換気などにより適正な温度管理を徹底する。また、十分なかん水、適切な肥培管理により草勢の維持に努める。
- 3 9月以降は裂果の発生が多くなるので、土壌水分が極端に変化しないようにする。
- 4 灰色かび病、葉かび病、アザミウマ類の防除を徹底するとともに、タバコガ類、コナジラミ類の早期発見・早期防除に努める。

## ○ね ぎ

- 1 草丈、茎径とも平年を上回っており、生育は順調である。
- 2 最終培土は、収穫の30日前頃に行い、葉の分岐部まで丁寧に土を寄せ、軟白長30cm以上を確保する。
- 3 べと病、さび病、黒斑病、アザミウマ類など病害虫の早期防除に努める。
- 4 アザミウマ類の被害が目立つ場合は、茎葉散布のほかに粒剤の株元散布を併用して防除する。

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報([http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/))

農薬登録情報検索システム(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt11p301.jsp>)

◎農作業中は熱中症に気をつけましょう。

- 1 日中の暑い時間帯は作業を避けるとともに休憩をこまめに取る！
- 2 通気性の良い作業着や帽子を着用し、汗で失われる水分や塩分を十分に補給する！



報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ
担当者	井澤 主査
電話番号	直通 017-734-9481 内線 5078
報道監	農林水産部 津島 農商工連携推進監 (次長) 内線 4966